

2011年5月

現勢・生物—No.2

けんぱくものしりシート

ハヤチネウスユキソウ



あらあら いわば きひん さ はな こんかい はやち ねさん こうざんしょくぶつ
荒々しい岩場に気品をただよわせて咲く花。今回は、早池峰山の高山植物
やま ちょうじょう ふきん は しょくぶつ だいひょう
(山の頂上付近に生えている植物)を代表するハヤチ
ネウスユキソウをご紹介します。

ハヤチネウスユキソウは、漢字で“早池峰薄雪草”と書

きます。世界で唯一、岩手県の早池峰山だけに育つ植物で、

薄く雪をまとっているように見えることから、この名前が

つけられました。また、ウスユキソウの仲間の属名(生物の種

類ごとにつけられる専門的な名前)は、ラテン語で

“Leontopodium”。これは「ライオンの小足」という意味です。



← こちらは、ヨーロッパのアルプスに咲くエーデルワイス

です。歌にも歌われていて有名ですね。ハヤチネウスユキソ

ウはこのエーデルワイスによく似ているので「日本のエーデ

ルワイス」とも呼ばれているんです。〈写真提供：小山田智彰氏〉

この部分が花です。
5~10個の黄色の小さな花が、
茎の先端に集まって咲きます。
大きさは5cmくらい。
7~8月が見ごろです。

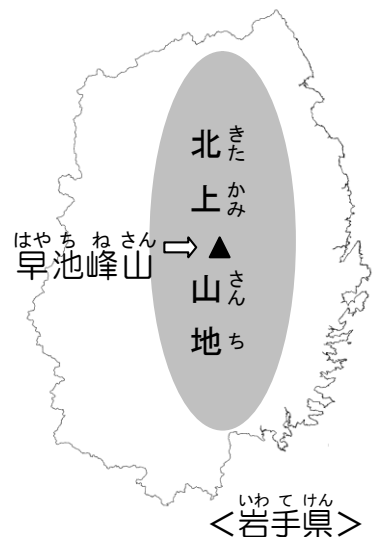
花びらのように見えるのは、
実は葉っぱです。
5~8枚が星型に広がっています。

茎の高さは15~30cm。

黄色の花以外は、茎も葉も全体が
白い綿毛でおおわれています。
まるで薄く雪をまとっているかのよう。



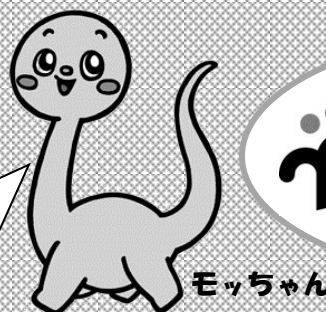
早池峰山は北上山地で最も高い山で、標高は
1,917mです。気温が低い、風が強い、といった高山の特
徴に加え、早池峰山は植物が育ちにくい蛇紋岩ででき
ています。こういった厳しい環境をたくましく生き抜
いている高山植物が、早池峰山には約200種もあります。
中にはハヤチネウスユキソウのように、ここでしか見ら
れない貴重な植物などもあるため、早池峰山の高山
植物帯は国の天然記念物に指定され、大切に保護されています。



6月中旬から7月にかけては、白・黄・赤・青・紫など色とりどりの花が
咲き乱れ、多くの登山者の目を楽しませます。あなたも、岩場を彩るお花畑
を見に、初夏の早池峰山に登ってみませんか？

参考にした本『早池峰の植物』大迫町立山岳博物館 1983年

来月(6月)の
けんぱくものしりシートは
体験学習室-2だよ！
おたのしみに！



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>